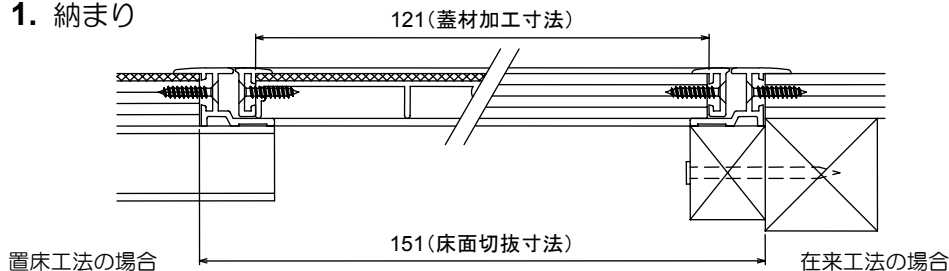


施工要領書

ホーム床点検口 HDM15 型・HDMB15 型

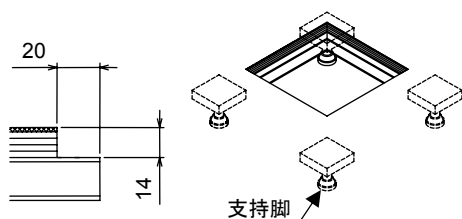
1. 納まり



2. 床の開口

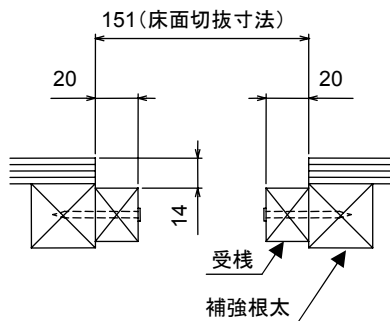
●置床工法の場合

- ①床面切抜寸法及びパーティクルボード切断寸法で点検口を設置する床面を開口します。
- ②床仕上面から14mmの段になるように施工します。



●在来工法の場合

- ①床面切抜寸法で点検口を設置する床面を開口し、補強根太を全周にまわします。
- ②床仕上面から14mmの段になるように受桟をまわします。



床面切断寸法	151×151
パーティクルボード切断寸法	111×111

⚠ 改築の場合、下面の配管にご注意ください。

⚠ 床の強度は、束を入れ十分確保してください。

⚠ 切抜いた床材は、蓋材に使用してください。

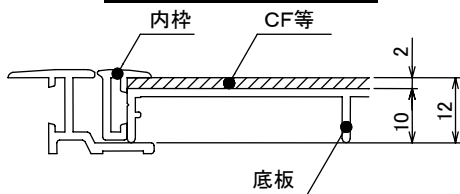
⚠ 施工上のお願ひ

床面は床面切抜寸法通りに開口してください。
開口部の強度が不足する場合があります。

3. 蓋材加工及び蓋の組立

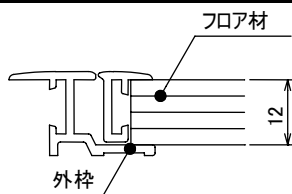
- ①内枠側面のさらタッピンねじ4本をはずし、底板を取り外します。
- ②蓋材加工寸法（121×121mm）にCFまたはフロア材を切断します。
- ③切断したCFを貼り付けた底板またはフロア材を内枠にはめ込み、①ではずしたさらタッピンねじで固定します。

●CF仕上げの場合



2mmまでのPタイル・クッションフロアー及び長尺シート仕上げに使用できます。

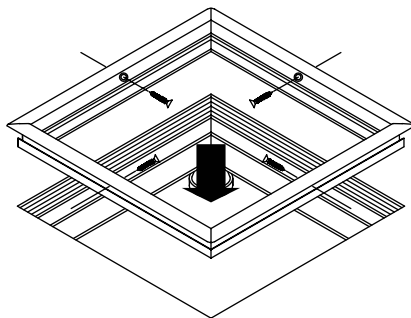
●フロア材仕上げの場合



底板をはずせば、12mmのフローリング材を使用できます。

4. 外枠の施工

- ①開口した床面に外枠をはめ込みます。
- ②外枠側面のねじ穴にさらタッピンねじ（3×16）で外枠を床面に固定します。



使用上の注意

- 指づめ等の恐れがありますので、蓋を開けた際は横に置いてください。
- 床面や部材を傷つける恐れがありますので、横に置いた蓋の上にはのらないでください。
- 転倒や落下の恐れがありますので、使用后はすぐに蓋を閉めてください。